

土砂災害について

延岡市立延岡中学校 一年

高橋

凛

私は、最近土砂災害について多く取り上げられているなとニュースやテレビ、あるいはメデイア全体を通してそう思いました。

土砂災害は、地震の揺れや大雨、台風などの影響で土砂災害になるケースの方が圧倒的に多いことがニュースを見ればわかると思います。

では、その土砂災害発生後、いつ私たちに土砂災害についてニュースが上がるか、考えたことはありますか。速報で流れる場合もありますか、ほぼが後日か、数時間後に発見、目撃されることが多くありますよね。

このことをふまえて、私は避難ができる状態じゃなかったのかな。いつも不思議に思っています。もちろん時と場合によつては、避難が難しい状態、例えばおじいちゃんやおばあちゃんが走れなかったり、ねていたり、あるいは、大切な作業をしていたりなど色々な

状態、事情があると思います。

でも、普段から備蓄をしてバザードマツで確認をしておけば、ある程度非け道をつくることもできるんじゃないかなと私はいつも思います。

備えるのが苦手な市は、ネットワークで探せばいいのが見つかると思うし、百均やスーパーマーケットなどである程度そろえられるものもいくつかあると思います。

だから、備える必要じゃないかなと思います。  
ました。

土砂災害はいつ来るか、何時間後に来るか分からないからこそ備えが重要になっ  
ています。

最近、台風のとに土砂災害が起きていく入が多くあったので衝撃を受けました。何気ない日常の中に大きな災害があるので、怖いなと思います。

私は、この前震度四最大震度六強の地震がありました。ねていて、避難アラートが鳴っ

ていたので、正直パニックになって胸の高鳴りがすごかったことを今でも覚えています。  
地震に油断をしていたので、備えができてませんでした。地震中、土砂災害について一つも考えることがパニックになっただけではありませんでした。

でも、やっぱり土砂災害のニュースでお亡くなりになられた方や重傷をおった方々を見ると、胸が苦しくなります。

山がなくても、遠くても災害はどんなことをくり返すのか分かりません。

土砂災害は一年に二回は必ずくると言って良いほど頻繁に土砂災害は起こっています。

だから、雨の多い日が続く、地震が起こった後、台風がずっと続いている場合は得に警戒を強めた方がいいと私的には思う、思いました。

台風が起こっている地域で土砂災害が起こったのかと思いきや、別の起こっている地域と真逆の地域で土砂災害が起きていてとても

怖ったし、同時に衝撃を受けました。

「正し、どんな災害でも一つ言えることは、どんな災害があってもその後の未来は誰にもわからないことです。予期はバンバン飛び交うものの、未来は誰にも分かりません。明日南海トラフが来ても、山が突然削れて、土砂くずれになっても未来は誰にも分からない上に、未来は誰にも変えることができません。だから、私たちは土砂災害に逆らうことができません、避難をするしかないのです。」

でも、避難ができる状態ではなくて避難ができない状態で誰にも助けを求めることがいなくて、誰も人がいることが現状です。でも、できるだけそうはなしてほしくない、帰らぬ人になつてほしくないから普段から災害の意識を高め、非常食など7日分の用意をしたり必要なものを買い集めたり色々な方法はあろうと思います。防災グッズを買ってみたりだとか、いるものを調べたりとか、ハザードマップで避難場所を確認もしくは最確認をして

おくだとか、人によっては色々な防災方法があると思いますが、やっぱり一番大事なものは自分の命だと思います。これは、だれにも変えられることのないくらい大切です。身内の安否を確認すると思いますが、自分の命あつての身内だから、まずは、自分を一番に考えて行動することが一番大切なと思います。まずは、自分が生きられるように、で余裕があったらどこかで優しい行動をするといいいと思います。最近、臣大地震が發生し結んでいるから警戒心が強まっていると思います。その敬言戒心を弱めず身を守りぬさましよう。